

東京工芸大学のスマートフォン版サイトが 「全国大学サイト・ユーザビリティ調査」で2年連続全国6位を獲得 - 関東では3位 -

東京工芸大学(学長:吉野弘章、所在地:東京都中野区、以下、本学)はこのたび、株式会社日経BPコンサルティングの「大学スマホ・サイト ユーザビリティ調査 2020-2021」で、総合スコアランキング全国6位(関東の大学では3位)を2年連続で獲得しました。なお、総合スコアは昨年度より6.33ポイント伸ばしています。

この調査は、「スマホ利用者への配慮があるか」「ストレスなく情報にアクセスできるか」をポイントに、株式会社日経BPコンサルティングが2004年(スマホサイト調査は2015年より実施)から毎年行っているものです。

調査方法はユーザビリティ(使い勝手・実用性)の観点から、米Googleの提唱するガイドラインなどを参考に、株式会社日経BPコンサルティングが独自に診断シートを作成。調査員が実際に全国262大学の大学サイトを閲覧し「見やすさ」や「操作のしやすさ」、「インタラクティブ」等の8つの指標からチェックし、結果をスコアとして算出しています。

東京工芸大学は、2017年度にサイトをリニューアルして以来、受験生・保護者にフォーカスしたサイトの運営・維持・向上に努めています。今年度はコロナ禍で多様な情報がサイトにあふれたが、サイト訪問者の「ユーザビリティ性」を意識することで本学は昨年より6.33ポイントスコアを大きく伸ばしました。

本学は、大学の情報をサイト訪問者にわかりやすく届けることができるよう今後も努めてまいります。

■東京工芸大学

東京工芸大学は1923(大正12)年に創設された「小西寫真(写真)専門学校」を前身とし、創設当初から「アートとテクノロジーを融合した無限大の可能性」を追究し続けてきた。

工学部と芸術学部の2学部を有し、工学部の学生は1年次に写真とデザインを学ぶことで芸術的なセンスを身につけ、芸術学部の学生はメディアアートを通して工学的な技術を身につけるといふ、一見相反する両分野を融合させた教育を実践している。

大学公式ホームページ: <https://www.t-kougei.ac.jp/>